

藤 岡 警 察 署 協 議 会 議 事 録
(令和 6 年度第 1 回定例会議)

開 催 日 時		令和 6 年 6 月 2 8 日 (金) 事前協議 午後 3 時 1 0 分から午後 3 時 5 0 分までの間 定例会議 午後 4 時から午後 5 時 1 0 分までの間	
開 催 場 所		藤岡警察署会議室	
出席者	委 員 (定数 7 人)	山口会長、黒田委員、吉野委員、村田委員、金谷委員、 榊原委員、黒澤委員	計 7 人
	警 察	木村署長、中嶋副署長、下境警務課長、塚家生活安全課長、 神宮地域課長、松嶋刑事課長、青柳交通課長、警備課長、 警務係長	計 9 人
	そ の 他		
議 事 の 概 要			
1 事前協議 定例会議に先立ち、会議室で、令和 6 年度中における警察署協議会の活動予定等について協議した。 2 会長挨拶 本年度は、前年と同じメンバー 7 人が委員を務め、私自身、会長として 2 年目、そして最後の年に当たるので、気持ちを新たに警察署協議会の重責を全うしたい。 また、各委員も地域住民と警察のパイプ役となり、要望・意見を吸い上げて警察行政に反映させる活動ができればと考えている。 今回は、署長のほか、人事異動で新たに赴任された幹部を迎えた初めての定例会議であり、会議終了後は意見交換会も予定しているので、ご協力をお願いしたい。 3 署長挨拶 本日は、お忙しいところ、令和 6 年度藤岡警察署協議会第 1 回定例会議に御出席をいただき、感謝申し上げます。 皆様方には、平素、警察行政各般にわたり、御理解と御協力をいただいていることに、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。 山口会長の挨拶にもあったように、藤岡警察署では、定期異動で大半の幹部が新しくなり、正に新体制の下、日々の警察業務に努め、地域の安全・安心を実現するため、署員一丸となって邁進している。 協議会員の皆様方には、引き続き地域住民の代表として、身近な安全に関する問題や御意見、御要望等をお聴かせいただき、今後の警察業務に役立てていく所存である。 本協議会の益々の発展と委員皆様方のご健勝を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。 4 定足数報告（会長） 委員定数 7 人のところ 7 人全員の出席があり、定足数を満たし、開催及び議決が有効である旨を報告した。 5 管内概況説明（説明者 警察署長） 令和 6 年 5 月末の管内概況 (1) 刑法犯認知・検挙状況 (2) 管内で発生した主な犯罪			

- (3) 少年犯罪検挙人員状況
- (4) 特殊詐欺認知状況
- (5) 交通事故発生状況
- (6) 110番通報受理状況
- (7) 警察署別治安情勢
- (8) 外国人に対する防犯・交通講話実施の推移
- (9) 令和6年4月～6月の主な活動

6 協議（○～委員、●～署長等）

(1) 意見、要望等

- 神流町地内のバイパス開通に伴い、一時停止の交通規制が変更となったが、停止しない車両が散見される。交通事故抑止の対策が必要ではないか。〔質問〕
- 交通規制の変更は交通量の変化によるもの。地元住民からも要望があり、注意喚起の看板や一時停止を強調する路面標示を設置している。引き続き、道路管理者等と協力しながら対策を講じていく。〔回答〕
- 道路に標示されている「交差点注意」の文字が薄れて見にくくなっている場所がある。また、一方通行規制が無くなったことに伴い、道路の標示文字「30」が消されたが、幅員の狭さや交通量に鑑みて復活させた方が良いのではないか。〔質問〕
- 「交差点注意」の路面標示は道路管理者が、「速度30」は公安委員会が標示している。それぞれの場所については、消去経緯や交通状況を勘案し、安全対策として道路管理者に標示の塗り替えについての協力依頼や警察本部と協議するなどして対応したい。〔回答〕
- 不要品や金属類、廃電化製品等の無料回収を謳ったチラシがポスティングされるが違法性はないのか。〔質問〕
- チラシの投函は、必ずしも違法性があると断言できない。不要品等を有料回収する場合には「古物商」の許可が、廃棄物として回収する場合は「廃棄物を処分・運搬」する許可がそれぞれ必要になるが、すぐに見分けることは難しい。悪質業者がいることを考えれば安易な使用は避け、処分するのであれば「行政が示している方法」が望ましい。〔回答〕
- 空き家や高齢者、太陽光発電施設等を狙った事件が話題になっている。山間地域には集落が点在し、高齢世帯も多く、防犯力が低下していると思われる。それらを踏まえてどのような対策を講じているか。また、個人でできる対策には、どのようなものがあるのか。〔質問〕
- 当署は通常パトロールに加え、赤色灯を点灯する「レッドランプ警戒」で見せる警戒を強化している。空き家については、巡回連絡等を介し、家屋内に貴重品を置かないことや庭木の手入れ等を行うことを呼びかけている。個人で行う防犯対策は、戸締まりの徹底、地域住民による積極的な挨拶、センサーライトや防犯カメラ等の防犯機器の設置がある。〔回答〕
- SNSで情報発信している地域ボランティアネットワーク等があるが、安全安心なまちづくりを推進するために活用できるのではないか。〔質問〕
- 県警では、不審者情報等を「上州くん安全・安心メール」で、警察活動に関する情報を「X」で配信するなど、情報発信に努めている。地域ボランティアネットワーク等との協力体制やSNSを活用した情報発信は有効と考えられるが、実施に際して様々な制約があると考えられるため、それらを検討した上で活動に役立てたい。〔回答〕
- 大地震等の緊急時の災害対応は、どのようなになっているのか。〔質問〕
- 災害発生時には、署長を長とする「災害警備本部」等を設置し、必要な人員を応召して警戒や救助活動等を行っている。また平素から市町村や消防等の関係機関と連携を密にし、災害危険箇所や避難所開設情報等を共有している。仮に大規模な災害が発生した際には、警察本部においても同様に災害警備本部が設置され、県警察全体での

災害対処活動を展開して行くことになる。〔回答〕

- 緊急性のない110番通報が増えていると聞くが現状はどうか。正しい通報方法を周知するため、どのような取組を行っているのか。〔質問〕

- 緊急性のない110番通報は、運転免許証更新手続きや遺失拾得の問い合わせなどがあり、特に遺失の通報が多い。正しい通報方法を周知するため、毎年1月10日ころを「110番の日」として広報活動に取り組んでおり、相談電話（#9110）の周知や通報体験等を行っている。広報の内容は、治安情勢等に応じて策定しており、昨年は「特殊詐欺予兆電話認知時からの110番通報の励行」等を重点にしている。

〔回答〕

- 交番があると安心できるが人手不足等の影響で警察官が減って不在交番が多くなるのではないかと。また交番自体が無くなってしまうのではないかと。〔質問〕

- 交番は治安回復とパトロール強化に応える機能を有しており、不在交番の解消に向けた取組を行っている。県警では、勤務員の不在が常態化する交番を「空き交番」と位置づけ、統廃合や交番相談員の配置等で既に解消している。不在となる要因は、街頭活動や現場対応等、必要なものであるため、必然的に一時不在とならざるを得ないことを御理解いただきたい。〔回答〕

- 男女共同参画の形成で、女性の職場進出が進んでいるが、警察は依然として男性の比率が高いと思う。女性の進出に関してどのような工夫をしているのか。〔質問〕

- 現在、群馬県警察男女共同参画推進計画（通称：みやまプランⅡ）に取り組んでおり、「警察官総数に占める女性警察官の割合12パーセント以上」を目標に掲げるなど女性職員の採用・登用拡大等に取り組んでいる。また、働き方改革に向けた目標として、「年次有給休暇の平均取得日数年間17日以上」のほか、令和5年度からは「育児休業」を3週間以上取得する男性職員の割合30パーセント以上」という目標掲げるなど性別を問わず、全ての職員が、仕事と子育て等を両立して活躍できるための環境整備に取り組んでいる。〔回答〕

- 右折レーンがある三車線道路で信号待ちしようとしたところ、対向から右折レーンに入ってくる車とぶつかりそうになった。普段の運転で逆走車に注意すべき点はあるか。〔質問〕

- 逆走は、高齢運転者が高速道路や自動車専用道路で陥りやすい事案であり、逆走車両は、複数車線の最も右側車線を対向から進行してくる可能性が高いことから左側の「走行車線」を通行すれば危険を回避できる確率が高くなる。〔回答〕

- 仕事の関係で空き家の窓ガラスを修理することが増えた。太陽光施設の銅線盗も増加していることから、警戒活動を強化してほしい。〔要望〕

- 住民の協力の下で情報収集に努め、効果的な警戒活動を行っていききたい。〔回答〕

- 下久保ダム付近の道路には、雑草が目立ち、視界が悪い場所もある。また、樹木が覆い被さっている場所もあるので改善してほしい。〔要望〕

- 道路管理者等へ連絡し、早急に改善を図りたい。〔回答〕

(2) その他協議

令和6年度の協議会活動として、「藤岡警察署庁舎の新築移転に関する要望書の策定及び藤岡市への提出」「管内7駐在所（鬼石、美久里、緑埜、下日野、神流町、中里、上野）に対する激励」について協議し、実施することを決定した。

7 備考

令和6年度第2回定例会議は、9月27日に開催する予定。